

令和7年葉月号

大洞院 便り

令和7年8月27日 発行

先祖供養のお寺 大洞院

大洞院は、地域に開かれた先祖供養のお寺です。春・秋彼岸、盆法要には本堂にみんなが集まり、先祖・故人・縁者の霊を多くの方々と一緒に供養します。

家族揃って合同法要に出席することは、故人を供養するとともに、先祖との命のつながりを感じる貴重な機会です。自分たちが決して一人ではないことを子や孫に伝え、自分自身を大切にすることを育みます。

塔婆供養

大洞院では、塔婆を建てて故人・先祖の供養をします。塔婆は、施主から故人への感謝の想いを伝えます。合同法要や年回忌法要の時に寺務所に申込みください(1本4,000円)。

境内に墓地が無い方、現在お墓が無い方は、一葉観音像の合同塔婆建を使い、塔婆供養します。

秋彼岸塔婆等申込web受付開始



web 申込
フォーム

webサイトからの秋彼岸法要の出欠・塔婆・仏花申込みを受付ます。

これまで通り、大洞院便りと共に送る法要申込ハガキでも受け付けます。どちらかの方法で申込みください。

秋彼岸法要会為〇〇家先祖代々霊位菩提塔婆主〇〇〇〇

秋彼岸法要のご案内

秋分の日をはさんだ前後7日間を秋彼岸と呼びます。

彼岸には、「故人がお寺やお墓に帰ってくる」と言われます。先祖・故人の霊が眠る寺院や墓地に行き、花や塔婆を手向け、読経などによって供養します。

故人の冥福を祈るとともに、先祖に子孫を守っていただいていることを感謝します。

日時：9月23日(火) 午後1時30分

会場：本堂 受付：寺務所

大洞院では、定期法要の設営、受付、交通整理などを支えてくれるボランティア「大洞院応援隊」を募集しています。皆様の温かいご協力が、参拝者の安心と円滑な運営につながります。無理のない範囲で、お手伝いください。

協力いただける方は、気軽に寺務所へ申し出ください。



法要当日は墓参用仏花(事前予約)の販売も行っています。

←墓参用仏花を販売

秋彼岸ペット法要

秋彼岸ペット法要では、家族の一員であるペットの安らかな眠りを、参列の皆様と共に祈ります。

日時：9月23日(火)

午前11時

塔婆供養を希望の方は大洞院寺務所にて承ります。(1本3,000円です。9月14日までに寺務所へ申込みください)



いぬねこごぞう

法要において読経・供養した塔婆は法要の後、皆様の手で「やすらぎの碑」に建立していただきます。

大洞院のペット供養

大洞院にはペットの納骨ができる合祀墓があります。前住職(木村)大徹誠治大和尚が「ペットは家族の一員」という想いで1997年に創建しました。

ペットが亡くなった時は、移動火葬車で火葬を行い、合祀墓へ納骨できます。

ペットの供養や火葬・納骨についての相談がありましたら、大洞院まで連絡ください。



ペット合祀墓
「やすらぎの碑」

秋彼岸 世話人会総会

大洞院は檀家の拠出金と協力で運営されています。檀家10～20軒に1人の世話人を選任して、総会を開催しています。総会では(1)運営方針と運営状況、(2)予算と決算、(3)監査結果などが報告されます。

世話人の任期は2年で、檀家の皆さまに順次お願いしています。世話人に指名されましたら、総会への出席を宜しくお願いします。

今年の秋は世話人の改選時期です。世話人の中から世話人会会長と理事若干名を選出して、住職・総代と共に理事会を編成して日常の大洞院の運営を支援しています。檀家の皆さまも総会が傍聴できます。大洞院の運営方針と経理は常に檀家の皆さまに公開し、「私たちのお寺」として開かれた運営をしています。

大洞院の檀家は、お互いに支え合う仲間です。大洞院を支えてお互いに助け合う檀家を増やす活動を進めています。皆さまのご協力をお願いします。



令和7年春彼岸世話人会

日時：令和7年9月23日(火)

午後2時45分頃(秋彼岸法要終了後)

- 議題：(1)令和7～9年の世話人の紹介と役員選出
(2)大洞院の運営状況について
(3)令和6年度決算について
(4)監査報告

新棟建設計画を推進中

令和5年2月に新棟建設計画の開始をお知らせしてから、2年半を経過しました。令和6年6月に建物の第一次の平面計画案を提案して多くの皆様から意見を頂きました。様々な意見を参考に、バリアフリーで利用しやすい本堂を目指して、第二次の平面計画案を検討中です。

新棟計画に必要な大洞院敷地の測量と隣地立会いを行ない、法務局へ地積登記をしました。本堂地下室の有効活用のため、12月末に改修工事を完了しました。

本堂などの耐震強度の検討等を行なっています。老朽化した浄化槽は、現在の排水基準に適合し、新棟建設計画に見合う合併処理浄化槽に更新する計画を進めています。新棟建設に向けて、勧募状況を見ながら一歩ずつ着実に推進して行きます。

新棟建設寄進 3千万円を超える

新棟建設資金として、すでに3,800万円を超える浄財を頂戴しています。檀家を含めた多くの皆様に広くご協力・寄進いただき、新棟建設計画を推進したく、宜しくお願いします。

8月3日 新盆・施食法要

新盆法要

過去1年間の故人が初めて迎える新盆にあたって、遺族縁者に参列いただき、近隣の僧侶10名と共に特に丁寧に供養する新盆法要を、8月2日午前11時から開催しました。

本尊前の施餓鬼棚には、故人の白木位牌を置いて読経・焼香しました。参列者は約60名で、荘厳な新盆供養を執り行いました。

施食(施餓鬼)法要

午後1時から、盆入りにあたり先祖・故人・縁者・広く災害殉難者や無縁の諸精霊の供養と参列の皆様の福德延寿を願う施食(施餓鬼)法要を開催しました。参列者約120名で、焼香・礼拝しました。また本堂前の焼香台で参拝する人もいました。



令和7年新盆法要



令和7年施食法要

8月15日 盂蘭盆法要

お盆で終戦記念日の8月15日、先祖・縁者・水子・故人の供養の為の盂蘭盆法要を行いました。本年も、故郷の墓参りのできない方、盆棚経の都合がつかなかった方、檀家以外の方などの申し込みで50霊を法要の際に奉読して供養しました。

法要後は、本堂前で徳武俊三さんの詩吟、五錦雄互さんの津軽三味線と宮川悦子さんの笛の演奏が奉納されました。境内と参道両翼の墓地の先祖・故人をはじめ天災・戦争の被害者などを供養する演奏が響き渡りました。



令和7年盂蘭盆法要

盂蘭盆法要の参列者、お盆の墓参りの参拝者、夏の夕涼みを兼ねた地元・花野井の皆様にも鑑賞いただきました。

西玄関ロビーを休憩所に

まだまだ暑い日が続いています。

大洞院では、本堂西玄関のロビーを空調して、休憩所として利用いただいています。

墓参りや参拝の際などに休憩所として、自由に活用してください。本棚に手を伸ばす、ギャラリーの展示を鑑賞する、飲物を口にするなど、ゆっくりと休憩ください。

本堂内トイレも自由にご利用いただけます。

お寺だから答えられる！

葬儀なんでも相談

葬儀前の相談

この頃、「近所の格安と宣伝する葬儀社に依頼したところ、当初見積より思わぬオプションが加算され、費用が多くなってしまった」という声が寄せられています。

大洞院では、葬儀の事前相談を承っています。近隣の葬儀会場・葬儀社情報を収集しています。おおよその葬儀希望内容（参加人数・祭壇の仕様・会場など）を伺って適切な葬儀社の紹介なども行うことができます。

葬儀後の相談

大洞院には、檀家以外の方から葬儀後の法要も相談が多々寄せられます。

葬儀後は四十九日法要、新盆法要、盆棚経、一周忌法要など施主が主催する法要が多くあります。

大洞院に相談頂ければ、各法要についての詳細や開催時期、準備する物などをお伝えします。



本堂での葬儀

大洞院の檀家は、本堂で葬儀を行うことができます。

本堂は荘厳した須弥壇があるので、喪主に費用負担の少ない葬儀を行うことが可能です。

本堂は10名前後の近親者のみの葬儀も、100名以上の葬儀も対応できます。参列者に応じて本堂内の会議室や西玄関ロビーも利用でき、喪主の要望に応じた心ゆくまで故人の供養を行うことができます。

お焚き上げについて

雛人形や五月人形など大切に飾ってきた人形やこけし、故人が使っていた仏壇・位牌・仏具、古くなったお守り、思い出の残る写真など、ご希望によりお焚き上げします。

お焚き上げしたい品物を、電話・メール等にて連絡ください。お持ち込み頂く日程を相談させていただきます。



坐禅を体験しよう



山門から境内に入ると清々しい空間が広がります。大銀杏の下にある本堂で坐禅が体験できます。

心静かにただ坐る。多忙で悩み多い日常からの気分転換になります。心が軽くなる坐り方をお教えします。

土曜坐禅会 第1・3土曜 午後2時～ 参加無料

初心者向け坐禅会です。「興味はあるけど、具体的なやり方は知らない」「どんな感じなんだろう？」という皆様に分かりやすく、優しく指導します。

最初にストレッチをしてから、坐禅を始めます。畳に坐ることが難しい方は、椅子に坐って坐禅ができます。

持ち物や予約は不要です。足を組みやすい服装(ズボン)で参加ください。

日曜坐禅会 毎週日曜 午前6時～ 参加無料

朝の閑静な本堂にて各自のペースで、坐禅をしています。心静かなひと時を一緒に過ごしましょう。

第3日曜には、坐禅の後に曹洞宗の経本を用いた勉強会を開催しています。(所用時間 約30分)

大洞院の秋

毎年秋彼岸の時期、本堂前の大イチョウ周辺に彼岸花が咲きます。今年も、9月中旬～下旬の開花を予想しています。彼岸の参拝の際にご覧ください。

秋が深まると境内の大イチョウが色付き、大粒のギンナンを落とします。例年、10月下旬～11月上旬頃に一斉に落ち始めます。

お寺で拾った銀杏は皆様にお分けします。料理の食材などにお使いください。



特集「秋彼岸に お墓を考える」

もうすぐ秋彼岸です。大洞院の境内墓地は春秋の彼岸、盆と正月、各家の様々な節目など、墓参りの人が絶えません。墓参りは、皆さまの生活の中に根付いています。そのお墓は時代と共に変化しています。特に令和となって、樹木葬、海洋散骨などが提案され、様変わりです。今回はお墓事情を考えましょう。

お墓の歴史と地域による違い

昔は土葬

縄文遺跡の発掘調査で、縄文人は、土穴（土坑）に遺体と共に副葬品を埋葬していました。万物に靈魂・神が宿り、人間の靈魂を丁重に供養すると福が、粗末に扱うと災いが生じると考えていました。先祖供養の歴史は縄文時代まで遡ります。土坑に死者を埋葬する土葬は近代まで続き、埋葬して土を盛り（土饅頭）、木の墓標を立てていました。

両墓制

村里が形成されると、遺体を人里離れた埋め墓に埋葬し、供養の為に詣り墓を別に設けた地域もあります。詣り墓は石の墓標で、人里近くや寺院境内にありました。

石塔の歴史

平安時代に貴族の一部は土葬墓に多宝塔を建てました。鎌倉時代は五輪塔、宝形印塔、板碑が建立されます。江戸末期には裕福な庶民も石塔墓を作ります。三段墓は江戸末期に始まり、故人の戒名が刻まれます。昭和初期までは個人墓、夫婦墓が主でした。



三段墓

火葬の普及と家族墓の誕生

飛鳥時代に仏教共に火葬が伝えられ、貴族の一部で火葬が始まります。明治時代に都市部で火葬が増え、昭和後半に全国で火葬が普及します。現在は火葬率 99.9%です。

火葬の普及で、お墓は様変わります。火葬になると墓石の下に設けた納骨室（カポート）に先祖代々の家族の遺骨を納める家族墓（家墓）の誕生です。「△△家之墓」などと刻まれています。墓を守り祖先供養をして、家業や一族の繁栄を願う風習と認識が高まりました。



骨壺を納骨室に埋葬

様々なお墓の形態

遺骨を納める場所は、家族墓以外にも納骨堂などがあります。

納骨堂

納骨堂にも様々な方式があります。**ロッカー型**と呼ばれる数段のロッカーが納骨室で、納骨室に2~4個分の骨壺が納められます。屋外の壁面式納骨堂もあります。夫婦や2世代用が大半です。契約期間終了後は合祀墓に移されます。

仏壇型は、納骨室の前に位牌や仏具を置く形式、仏壇の下が納骨室の形式があります。**棚段型**は棚上に骨壺を並べる形式です。**位牌型**は骨壺を一ヶ所に納めて、お参りは位牌に向かって行きます。**自動搬送型**は骨壺を一ヶ所に収納し、参拝者の操作で骨壺が搬送される形式です。

その他にも、永代供養塔内の棚に骨壺を納める形式、墓石の下部に骨壺を納める形式など様々あり、時代と共に変化しています。



大洞院の納骨棚（ロッカー型）

永代供養合祀（合葬）墓

合祀墓は、納骨室に多数の遺骨をまとめて埋葬し、永代供養しながら土に還すお墓です。慰霊碑などの下に納骨室があります。後継者のいな遺骨、墓じまいの遺骨、家族墓の納骨室が手狭になって古い遺骨を合祀墓に移すなど、様々な利用されています。納骨後は、費用が一切かかりません。合祀後は遺骨の取り出しはできません。

遠い故郷の先祖代々の遺骨を墓じまいで合祀墓に納め（埋め墓）、身近に自分たち夫婦の墓を作って墓誌に両親名を記して墓参用（詣り墓）にした例があります。現代版の両墓制と言えます。

樹木葬墓

樹木葬墓は、樹木や草花を墓標とする自然志向の墓として始まりました。自然の中に埋葬される、墓石不要で安価な永代供養合祀墓です。山林や丘に造成した**里山型**の樹木

葬墓で始まりました。

利便性を求めて、木の周辺に遺骨を埋葬する**シンボルツリー型**、草花や芝生をアクセントにした**ガーデン型**となり都市部に戻ってきました。30cm 角程度の石板を墓誌として納骨室の上に置いた**プレート型**が増えました。

「小さくても良いから、安価でお参りしやすい場所に自分の墓所が欲しい」という要望に合致したと思われます。

散骨

新しい埋葬として、海洋散骨と里山散骨が提案されています。散骨のため遺骨を2mm以下まで粉碎します。海洋散骨は海域が制限されています。里山散骨は里山の管理者の許可が必要です。散骨をする人は、まだ全体の1%以下です。

手元供養

故人の遺骨を手元に置いて、身近に感じたい人もいます。仏壇の下に戸棚があれば、遺骨を「埋葬許可証」と一緒にして、保管できます。

最近では、遺骨の一部を手元供養品（小壺、ペンダント、ブレスレットなど）に入れて供養する人もいます。手元供養品に入らなかった遺骨は、家族墓に埋葬、合祀墓に永代供養、海洋散骨などします。

最近のお墓事情

21世紀になり産業構造は、医療・福祉、情報通信、教育産業などサービス・知識産業に変化しました。企業等の雇用者が増加しています。

若年層は進学・就職などで都市へ移動して、地方では老夫婦が先祖の墓を守っています。若者は盆・正月に帰郷するだけで、先祖供養の風習は引き継がれません。故郷の両親の死後は、先祖代々の墓と疎遠になり、墓じまいや改葬する例が増えました。

その若者も家庭を持ち、子供が進学・就職して老夫婦世帯になります。都市部でも墓じまいと改葬が進んでいます。

少子化で一人っ子同士の若夫婦が増えました。それぞれの両親の家族墓をどうするかが課題です。両家を合せて供養する両家墓が見られ始めました。

単身者世帯が増えました。生涯独身者、離婚者が増えました。「わたしたち夫婦だけのお墓が欲しい」「わたただけのお墓が欲しい」と言う人も増えました。これからは、夫婦だけの墓、一人だけの墓が増えるでしょう。

大洞院の墓地への対応と提案

境内墓地

本堂前には約500区画の境内墓地があります。平坦地、駐車完備で墓参が容易です。設備が充実していて、世代を継いで利用するには最適です。

墓石に「先祖代々」「俱会一処」「南無釈迦牟尼仏」などと文字彫刻したお墓があります。墓石後継者の姓が変わっても支障がありません。

墓誌に夫婦の両親4名の戒名を彫刻した両家墓もあります。両親の兄弟や縁者を納骨している例もみられます。

境内墓地を見回すと、直系家族から核家族へ、両家墓、拡大家族墓への変化が見られます。

永代供養合祀墓

単身者、後継者のいない方も安心して利用できる永代供養合祀墓で、一葉観音像の元に納骨して大洞院が永代供養します。生前に契約でき、墓誌に利用者の戒名などを彫刻できます。墓じまいで合祀墓に納骨して先祖代々名を墓誌彫刻している例もあります。納骨後は、土に還りますので遺骨の改葬はできません。



大洞院の永代供養合祀墓
(一葉観音の下が納骨室)

永代供養個別墓

永代供養墓域にある独立した供養墓で、3霊まで納骨ができます。最後の納骨後、七回忌を過ぎると大洞院が合祀墓に改葬して永代供養します。生前契約ができます。合祀墓に移す前は遺骨の返還と改葬ができます。



永代供養個別墓

小さなお墓（計画中）

夫婦2人だけのお墓、単身者のお墓という「私のお墓」を安価に持ちたいという要望に応じて、新しいお墓の計画を推進しています。小さな納骨室を並べて、その上には希望のデザインの墓石を建立できます。

粉骨を専用骨壺に入れて墓石の下に埋葬します。七回忌後は、海洋散骨または合祀墓に改葬を選べます。七回忌までは遺骨の返還と改葬ができます。小さなお墓は12月完成を目指しています。



小さなお墓（イメージ）



大洞院の落語会「ごくらくご」

大洞院の落語会は、25年振りの開催です。大洞院のご縁が「立川志のぼん」に繋がりました。落語会のキャッチコピーを考えていると、版画家・大野隆司さんがぬ〜っと顔を出して、「『ごくらくご』はいかが？」と声掛けです。

「らくごはごらく、ごらくはごらく。ごくらくごは後ろから読んでごくらくご」大野提案で、まあイ〜カ！皆さまのお越しを首を長くしてお待ちしています。



令和7年

9月10日(水)

13:30開場 14:00開演

会場：本堂(椅子席・駐車場完備)

木戸銭:2,000円 予約:寺務所

☎04-7132-5868 daitou@daitoin.net

◆立川志のぼん プロフィール◆

筑波大学芸術専門学群 卒業。同大学院芸術研究科を修了。

2005年1月 立川志の輔に入門

2013年4月 ニツ目昇進

落語による地域活性化を目標にして、全国で活動中。

御朱印・朱印帳

大洞院では季節限定や東葛地域作家とのコラボデザインなど、オリジナル御朱印を各種発行しています。今年は大野隆司さんの御朱印です。寺務所でお受けください。

大洞院特製オリジナル朱印帳もあります。



月替わり御朱印



月替わり御朱印展示中

寺務所玄関では、これまで作成してきた月替わり御朱印を展示・発行しています。

東葛地域で活動する作家の方々に協力いただき、様々な絵柄の御朱印を皆さまに楽しんで頂いています。

大洞院は福祉活動を支援しています

認知症カフェ「花福」

主催：田中地区オレンジフレンズ

協力：柏北部地域包括支援センター、大洞院

認知症について知りたい方、認知症の方や家族、地域の方々、どなたでも参加できる「憩いの場」です。

認知症について知り、介護の悩みや経験談を共有するとともに、認知症の方が自ら楽しめるカフェです。

時間内の出入りは自由です。気軽に参加ください。

日時：9月9日(火) 午後1時30分～3時

10月14日(火) 午後1時30分～3時

11月11日(火) 午後1時30分～3時

参加費：100円(菓子・飲み物代) 場所：本堂 会議室

【活動内容】

レクリエーションゲーム・座談会・情報交換
包括支援センター職員による個別相談(ご希望の方)等

活動内容や概要については、柏北部包括地域センター

(☎04-7140-8818) までお問合せください。

歳の市(バザー)の品物募集中

今年も、12月下旬から恒例の歳の市(バザー)を開催します。ご自宅に眠る再利用できる品々を提供ください。大洞院寺務所でお受け付けています。バザーの売上金は柏市社会福祉協議会に全額を寄附します。



令和6年 歳の市



鹿の子着付け教室 発表会 参加モデル募集



大洞院で開催している鹿の子着付け教室による発表会です。振袖訪問着、豪華な帯結びなどの上級者向けの技巧を披露します。

発表会で着物を身に付けて頂くシニアモデルも募集しています。家に眠る着物を身に付けたい方は是非ご相談ください。着物の貸出もありますので、興味ある方は気軽に問合せください。

日時：11月1日(土)

午前11～12時

参加費：無料 場所：本堂



令和6年 発表会

大洞院は文化活動を支援しています

大洞院ギャラリー展示予定

●東海道五十三次版画展

8月27日(水)

～9月14日(日)

昭和20年代に復刻された、歌川広重の錦絵木版画「東海道五十三次」を展示します。



広重筆・保永堂版「日本橋朝之景」

●松谷登絵画展

9月17日(水)～10月26日(日)

柏市在住の画家・松谷登さんの展覧会です。

風景などを題材にした油絵を数多く展示します。



松谷登「春」

●安蒜静雄写真展

10月29日(水)

～11月16日(日)

7月に逝去された写真家・安蒜静雄さんの撮影した、四季折々の自然を写し取った作品を展示します。



安蒜静雄「柏の葉公園・春」



●拓本展

11月21日(金)～12月上旬

石に刻まれた文字などを墨で写し取った「拓本」の展示です。

書家の西村五葉さんが、各地の石碑を廻り作成した拓本、収集した拓本を寄贈いただきました。

顔氏家廟碑拓本

(全長3.5メートル)



大洞院に隣接する農地を、檀家から一部借用し野菜・花の栽培をしています。檀家や地域の方が参加しています。いっしょに栽培を楽しみましょう。申込・問合せは寺務所までお願いします。

農具は大洞院にて貸出、井戸水は農地内にあります。トイレ、休憩所は寺務所にあります。

昨年秋は、地域の子供たちと一緒に、サツマイモ掘りを楽しみました。

寺ゼミ(歴史講演会)

名主・吉田甚左衛門家と歴史

講師・高野博夫(柏市郷土史家)

柏の歴史を良く知る郷土史研究者・高野博夫さんによる、講演会を開催します。

高野さんは、古文書や金石文などの膨大な資料を参考にして、柏市の歴史を研究しています。今回は、花野井村の成り立ちと、名主・牧士を務めた吉田甚左衛門家の歴史について、調査研究の一端を披露していただきます。

日時：令和7年10月4日 午後1時30分～

参加費：無料 会場：本堂

講演資料準備の都合上、事前連絡をお願いします。



講師プロフィール

柏市文化課嘱託。柏市郷土史家。

古文書や金石文などの調査、市史編纂を担当。

現在は、柏の歴史講演や歴史ツアーの講師として活躍。



柏に美術館を創る活動が推進されています。昨年10月に、キックオフミーティングが大洞院本堂で開催されました。4月にはラコルタ(柏市教育福祉会館)で『「柏に美術館を創りましょう」講演会 柏にふさわしいミュージアム—学芸員からの提案—』を開催しました。

11月には、(1)美術館創りの参考になる各地の美術館調査、(2)柏の身近なパブリックアートの調査、(3)美術館創りの今後の展望などの報告と意見交換を計画しています。

日時：令和7年11月15日(土) 午後1時30分～

会場：ラコルタ柏(教育福祉会館)5階 講堂

☆柏市役所本庁舎となりの建物

主催：柏の文化を育てる会 協賛：大洞院

芸術の秋 散策のお供 アートマップを作りました

柏の葉公園周辺のパブリックアートを記載した「まちなかアートマップ」が完成しました。マップは寺務所でも配布しています。アートマップを手に、街中にある芸術品を散歩しながら楽しんでください。



「まちなかアートマップ」
第2弾は柏駅周辺を予定。

大洞院 秋の寺コン

秋風と巡る音の旅

マリンバ ヴァイオリン イングリッシュハンドベル

令和7年 **10月25日(土)**

13:30開場 14:00開演

会場:大洞院 本堂

全自由席(椅子席) 駐車場完備

チケット:2,500円

事前予約・販売で満席となる見込みです

早めの予約・購入をお願いします

予約・問合せ:大洞院寺務所

☎04-7132-5868 ✉daitou@daitoin.net

藤本 亮平

石亀 希実

藤田 美千子

しゅくとう

七五三祝祷

子どもの成長と健康を共に祈願する七五三祝祷を開催します。七歳・五歳・三歳の子供といっしょに兄弟姉妹も参加いただけます。気軽に申込ください。参加者には千歳飴をプレゼントします。境内での写真撮影の際にはスタッフが撮影補助をします。

令和7年 **11月15日(土)**

午後1時~2時

会場:本堂 参加費:無料



曹洞宗 花井山 大洞院

〒277-0812 千葉県柏市花野井1757
TEL 04-7132-5868 FAX 04-7134-2131

URL <http://www.daitoin.net/>
Email daitou@daitoin.net